

令和7年度 共同生活援助 ジョーの家 地域連携推進会議 議事録

開催日時	令和8年1月24日(土) 午前10時30分～11時45分
開催場所	佐倉市よもぎの園2階会議室
出席者	利用者1名、利用者家族1名、民生委員1名、行政1名、 福祉関係者(市内グループホーム)3名、 高橋健(管理者・サービス管理責任者)、戸室輝大(宮前の家会計責任者)、近藤美貴(ジョーの家会計責任者)
欠席者	なし
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮前の家概要説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画</li> </ul> </li> <li>2. 宮前の家での生活について <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者から</li> <li>・家族の立場から</li> <li>・職員から</li> </ul> </li> <li>3. 意見交換</li> <li>4. ジョーの家見学からの意見</li> </ol>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・令和7年度 事業計画</li> <li>・宮前の家パンフレット</li> </ul> <p>※情報公開書類を閲覧できるように設置した</p>

管理者挨拶

高橋) 私たちのホームは、単独で存在するのではなく、地域の皆様と助け合い、結びつきながら、入居者が自立して安心した生活を送れる場所にしたいと考えている。今日はぜひ、皆様から率直な意見をいただきたい。

出席者の自己紹介

※各参加者から挨拶があった

### 1. 宮前の家概要説明

戸室) 事業計画概要 別紙参照①

※資料を基に説明をおこなった。

### 2. 宮前の家での生活について

高橋) パンフレット概要 別紙参照②

※資料を基に説明をおこなった。

現在は週末に帰省される方、グループホームで過ごされる方と様々である。帰省されない方に関しては、昼食を職員と一緒に購入に行くこともある。ご自身で出来ることを増やすため、職員と一緒にいながら支援している。

地域のイベント等にも参加するようにし、地域との関係づくりを行っている。ごみ捨てに関しても利用者と一緒に実施している。

### 3. 意見交換

委員) 普段、入居者の皆さんはどのように過ごしているか。

→回答) 平日はそれぞれの通所先に通っている。朝は6時に共有スペースを開放する。早いは4時前や5時半頃から集まり始め、朝食は7時からそれぞれのペースで召し上がり、9時前には通所先へ出発する。

16時頃に帰宅された後は自由時間。入浴は、順番に夕食の前後で入られる。「次どうぞ」と譲り合い、スムーズに利用されている。夕食を楽しみにされている方は、17時半頃からキッチンのカウンターで料理を眺めて待っている。

委員) 週末はどう過ごしているか。

→回答) 週末は自宅へ帰省する方、グループホームへ残る方もおり様々。残る方は職員と一緒に近くのスーパーへ買い物に行くこともある。職員と一緒にスーパーまでの道順を覚える、苦手な小銭の使い方を練習したりと、一人でできることを増やすための支援も行っている。先日は地域のイベントにも参加した。今後は地域のゴミ拾いや挨拶回りなどを通じて、もっと地域に溶け込んでいきたい。

利用者) 自分ができないことをやってもらえるので、大変助かっている。

戸室) 入居前に心配なことがあったか。

→利用者) 初めてなので父、母と相談して決めた。

戸室) 困ったことはあるか。

→利用者) その時は世話人や職員に相談している。

委員) 初めてGHを利用するにあたり、何が良くて宮前の家を選んだか。

→利用者) 通所している仲間がいるので、安心して選ぶことができた。

委員) 食事はおいしいか。

→利用者) カレーなど好きな料理もある。美味しい。

→回答) 食事は皆さん残さず召し上がっている。提供にあたっては揃って食べ始めるわけではなく、提供時間に来た方から召し上がっている。

利用者) ハンバーグが大きくて美味しかった。

家族) カロリー計算はしているか。

→回答) キット食材を活用しているが、メニューでカロリー計算をされたものが提供されている。

委員) 困ったことはあるか。トラブルがあれば民生委員として間に入るので相談してほしい。桜の頃に地域のイベントがあるのでお知らせしたい。

→(回答) オープン前の見学会に地域の方々がたくさん来てくれ、今のところ困っていることは無いが、申し出はありがたい。

委員) 自宅とグループホームでは環境が異なるので、ストレスになることがあるか。

→利用者) ありません。

→回答) 自宅から持ち込めるものは持ち込んで良いことにしている。家族が来て設定してくれることもある。

戸室) これからグループホームでやってみたいことはあるか。

→利用者) 入居している皆さんとイベントなどに出掛けたい。

委員) 困ったことがあったときに誰に一番に相談するか。

→利用者) 職員に相談する。

→回答) 宿直に入る職員が見知った通所先の職員でもあり、相談しやすい関係である。

利用者) 入浴について、初めは職員に見て貰ったが、今は一人で入っている。蓋を開

けるなどできないことを世話人が準備してくれるので、助かっている。シーツを敷くなど手伝ってくれる。

家族) 安心して任せている。自分で洗濯をするようになったと聞き驚いた。先日、本人から布団カバーがかけられないと電話がかかってきた。職員に相談するように伝えた。話をしない子なので、帰省時も特に話をしない。帰省を毎週しているが、それが本人にとって良いのか。

→回答) 自分で洗濯物を干し、食事の準備を手伝ってくれる場面も増えている。帰省については、本人のリズムになっているので、グループホームに慣れるためには良いペースではないか。

家族) いずれ宮前の家の比重が多くなり安心して過ごせると良いと思っている。

→回答) 本人が母に相談していたが、母から「職員に相談して」と伝えてくれたことで、本人も職員へ少しずつ伝えてくれている。

家族) 環境が変わることに不安もあったが、本人が落ち着いて過ごせているのが一番嬉しい。家ではできなかった自立への一歩を、ここで踏み出せているようで感謝している。

戸室) 他の利用者だが、利用者間で入浴後に次の方に声を掛けるように支援したところ、風呂のことだけでなく「テレビの音が大きいですよ。小さくしてください」等、他のこともやり取りしている様子も見られるようになった。

委員) 本人の希望で入居したのか。

→家族) 山王の家ができた時に本人へ声掛けをしたが、入居を受け入れなかった。今回は両親が高齢であることを本人が自覚したのか、素直に入ってくれた。

委員) 入居前に練習や働きかけをしたか。

→家族) 何かをすると警戒してしまうかと思い、特に何もせずに入居した。本人が覚悟をしていたのではないか。

→回答) 今は帰ることのできる環境がある。この先家族や家庭に変化があった際は、本人が理解をしてくれるのではないかと思う。グループホームへ入居時、本人のストレスが心配で、通所先でも気を付けていたが、大きな変化は無く過ごしている。本人なりのペースがあり、通所からの帰りは駅前で買い物をする等もある。

委員) 帰省時にグループホームでの様子等を話すか。

→家族) 自分の部屋にすぐ戻ってしまうので、特に話はない。

→回答) テレビのことなどコミュニケーションが取れるようになると話が広がる。本人とのコミュニケーションについては、今後の課題であると感じている。

戸室) 利用者で1名視覚障害がある方がいる。自分から積極的にできることを増やしたい方なので、世話人・職員と一緒にやりながら自分で出来ることを増やしている。いずれ自力で帰宅したいと歩行訓練を頑張っている。宮前の家の利用者は20代から高齢まで様々。地域の方から声を掛けていただくこともあり、よもぎの園が地域に存在し関係が出来ていたことも大きい。

委員) 喫煙できるか。

→回答) 玄関の外に喫煙場所を設けている。建物内は禁煙。飲酒も禁止していない。

高橋) ※パンフレットをもとに説明

家賃について国からの補助と佐倉市(利用者の援護地)からも補助がある。市からの補助は佐倉市の場合年度末にまとめて支給されるため、一旦本人が家賃分を支払い、本人の口座に市から補助分が支払われる。食材料費・日用品費は毎月引き落としし、3カ月おきに清算。不足分があれば追加で支払いをお願いする。精算時に余った場合には返金する。11月に開所したので、これから精算をすることになる。

委員) 米の価格が高騰しているがどうしているか。

→回答) 法人内のグループホームの分をまとめて地域の方から購入している。市場価格の高騰を受けて少し値上がりはしたが、市場価格よりは安く提供していただいております、大変ありがたい。

家族) マイナンバーカードの取り扱いについて聞きたい。

→回答) マイナンバー制度が開始になったときに、法人として取り扱いに関するルールを決めており、マイナンバーカードは預からないことを基本としている。本人が所持し管理することは良いが、グループホームとしては預かることはできない。資格確認書であれば預かることはできる。

#### 4. ジョーの家見学からの意見

近藤) 1月10日にジョーの家の所在地を担当する民生委員が見学に来ている。本日は欠席だが、見学した感想として「安全に配慮して運営しているのがよくわかった。利用者のために頑張っていて欲しい」という、励ましの言葉をいただいたことを報告する。

以上